

当教室で法医解剖されたご遺族の方へ

当教室では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある故人のご遺族の方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合せ先にお問い合わせ下さい。

| | | | |
|---------------|---|-----------------|------------------|
| ① 研究課題名 | 法医解剖事例における乳幼児異所性胸腺の構造的特徴と成熟度に関する研究 | | |
| ② 実施予定期間 | 実施許可日から 2024 年 3 月 31 日 | | |
| ③ 対象患者 | 対象期間中に山口大学において法医解剖を実施された方のうち、7 歳未満の方が対象となります。 | | |
| ④ 対象期間 | 2013 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日 | | |
| ⑤ 研究機関の名称 | 山口大学大学院医学系研究科 | | |
| ⑥ 対象診療科 | 法医学講座 | | |
| ⑦ 研究責任者 | 氏名 | 酒井大樹 | 所属 山口大学 |
| ⑧ 使用する試料・情報等 | 法医解剖時に収集したデータ（性別、年齢、死因、死因の種類、現病歴、既往歴、前治療、解剖・検査所見）、及び胸腺・異所性胸腺の組織検体を使用します。 | | |
| ⑨ 研究の概要 | <p>胸腺は、胸骨の裏面に位置する免疫機能に重要な組織です。乳幼児の法医解剖事例では、正常な位置以外に存在する異所性胸腺がみられることがあります。異所性胸腺は、呼吸困難・喘鳴・嘔声・嚥下障害を引き起こすことや、気管を圧迫し窒息の原因となることが知られています。そのため、異所性胸腺の特徴を明らかにすることが重要です。</p> <p>本研究の目的は、異所性胸腺の構造や成熟度を組織学的・免疫組織化学的手法により解析し、正常胸腺との違いを解明することです。異所性胸腺の構造的特徴を明らかにすることは、乳幼児の窒息死の予防や死因との関連性の解明に繋がる可能性があると考えます。</p> | | |
| ⑩ 実施許可 | 研究実施許可日 | 2023 年 1 月 31 日 | |
| ⑪ 研究計画書等の閲覧等 | 研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。 | | |
| ⑫ 結果の公表 | 学会や論文等で公表します。 | | |
| ⑬ 個人情報の保護 | 結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。 | | |
| ⑭ 知的財産権 | 山口大学に帰属します。 | | |
| ⑮ 研究の資金源 | 法医学講座の研究基盤経費 | | |
| ⑯ 利益相反 | ありません。 | | |
| ⑰ 問い合わせ先・相談窓口 | 山口大学大学院医学系研究科 法医学講座 担当者：酒井大樹 | | |
| | 電話 | 0836-22-2234 | FAX 0836-22-2232 |